

まちの話題

歴史資源で町おこし

3月9日、小郡ロータリークラブ（寺尾信夫会長）の記念行事として、講演とシンポジウムが行われました。

NHKの文化講座でも講演している歴史作家の星亮一さんが、「戊辰戦争140年・古屋兄弟が残した事績」と題して、兄の佐久左衛門と弟の凌雲の生涯と戊辰戦争の係わりについて講演しました。

シンポジウムでは、町並み整備コーディネーターの高山美佳さんを進行役に、星さんのほか、秋田県角館町を東北有数の観光地に育てた高橋雄七元角館町長と平安小郡市長が松崎（宿）の歴史的景観を活かした町づくりについて「景観を守っていれば、観光は後からついてくる」「『歴史は未来への資源』であり、ハード（松崎宿）とソフト（高松兄弟）を活かした町づくり」「小郡の情報を積極的に発信する」などを提言し、また、「住んでいる人たちの協力が欠かせない」など客席からも意見が寄せられるなど盛会なものとなりました。



▲町づくりについてのシンポジウム

高松凌雲記念書き初め大会表彰式

高松凌雲顕彰会が募集していた第5回高松凌雲記念書き初め大会の表彰式が、3月9日に行われました。

小学校1年から3年までの硬筆の部と4年から6年までの毛筆の部で行われ、市内と久留米市北野町の小学校が参加し、1,300点を超える応募があり、入賞した作品に各賞が贈られました。

各賞の結果は次のとおり（市内分のみ・敬称略）。

硬筆の部

みい青年会議所理事長賞 なじまゆうか(三国小1年)
おごおり女性協議会長賞 山田あゆみ(小郡小2年)
小郡市議会議長賞 まつ村り(東野小2年)
高松凌雲顕彰会長賞 さとうななみ(のぞみが丘小3年)

毛筆の部

小郡市郷土史研究会賞 福田乃依(三国小4年)
小郡三井医師会長賞 岩瀬香(のぞみが丘小5年)
小郡市教育長賞 橋本明香里(大原小6年)
小郡市長賞 金山文香(のぞみが丘小6年)



▲入賞作品を見る来場者

「クリーンヒル宝満」竣工



▶ 運転状況を監視する中央制御室

3月15日、筑紫野市、小郡市と佐賀県基山町で組織する「筑紫野・小郡・基山清掃組合」が運営するごみ処理施設「クリーンヒル宝満」が完成し、現地で竣工式が行われました。

新施設は、一般廃棄物をガス化、熔融して資源化するとともに、その時発生する余熱で発電する施設を併設している。熱回収施設の処理能力は1日250トンで、発電能力は1時間約5,000キロワット。

また、粗大ごみやペットボトルを選別し、再資源化を図るリサイクルセンターも開設されました。

総事業費は熱回収施設とリサイクルセンターを合わせて約121億6,000万円。

野球独立リーグに「福岡レッドワブローズ」が参戦

3月17日、福岡レッドワブローズ（福岡市）の江口信太郎球団代表、森山良二監督らが平安市長を表敬訪問しました。



▲左から江口代表、平安市長、森山監督

野球の独立リーグ「四国・九州アイランドリーグ」に今季から参戦することになり、監督は大原中出身で昨年まで西武ライオンズのコーチだった森山良二さんが務めます。江口代表は「小郡市野球場での試合の際は、ぜひ市民の皆さんにご協力をお願いしたい。特に子どもたちに見てもらい、将来プロ野球選手になりたいという夢を与えたい」とあいさつ。リーグの開幕は4月5日（土）、小郡市野球場での試合は4月18日（金）から始まり、16試合が予定されています。詳しい日程やチケットなどに関する問い合わせは、球団事務所☎092-892-3355まで。